
目次

最新情報.....	1
ドライバーのインストール時の注意点.....	1
メンテナンス項目.....	2
ファームウェア.....	2
Mac OS X ドライバー.....	2
Windows ドライバー.....	2
既知の項目.....	3
Windows ドライバー.....	3
Mac OS X ドライバー.....	3
ドライバーバージョンおよびファームウェアバージョンの確認.....	4
ドライバーアップデート手順.....	5
Windows.....	5
Mac OS X.....	6

最新情報

本機の最新版のドライバー／ファームウェアは、下記になります。

Windows

ドライバー	: <u>V1.02 (今回1.01から更新)</u>
ファームウェア	: <u>V1.02 (今回1.00d9から更新)</u>

Mac OS X

ドライバー	: <u>V1.02 (今回1.01から更新)</u>
ファームウェア	: <u>V1.02 (今回1.00d9から更新)</u>

本機のドライバー／ファームウェアは、常に最新版をお使いいただきますようお願いいたします。最新のドライバー／ファームウェアに関しては、TASCAMのウェブサイト (<http://tascam.jp/>) にてご確認ください。

ドライバーのインストール時の注意点

新規ドライバーをインストールする場合は、必ず古いドライバーを削除してから新しいドライバーをインストールしてください。

メンテナンス項目

ファームウェア

V1.02の修正

- US-366において、モードが「STEREO MIX」のときに外部から176.4/192kHzのデジタル信号が入力されている状態でパソコンを起動したり、USBケーブルを接続した場合にcomputer 1/2の信号が出力されないことがありましたが、出力されるように修正しました。
- REVERBをオンにした際にノイズが発生することがありましたが、これを修正しました。

Mac OS X ドライバー

V1.02の修正

- US-322/US-366の起動後、ミキサーパネルを開くまでは、**MON MIX**つまみの状態に関わらず本機の外部入力音は本機の端子から出力されず、パソコンからの出力音のみしか出力されませんでした。が、**MON MIX**つまみの状態どおりに出力されるように修正しました（モードが「STEREO MIX」のときは、仕様により**MON MIX**つまみは動作しません）。
- US-322/US-366において、ダイナミクスエフェクトのアサインが、奇数チャンネル（Digital 1、Analog 1等）でオフ、偶数チャンネル（Digital 2、Analog 2等）でオンの状態でステレオリンクをオンにすると、表示は偶数・奇数チャンネルともにアサインはオフになりますが、ダイナミクスエフェクトが偶数チャンネルで有効になっていましたが、どちらも無効になるように修正しました。
- US-322/US-366において、「**STEREO MIX**」モードで動作している場合、ダイナミクスエフェクトがどのチャンネルにもアサインされておらず、且つダイナミクスエフェクトがオンになっている状態で本機を起動させると、ダイナミクスエフェクトがComputer 1に対して有効になっていましたが、これを修正しました。
- US-366において、デジタル入力信号のビット長が16ビットの場合、ミキサー画面のメーターのオーバーロードインジケーターは最大レベルで点灯していましたが、点灯するように修正しました。

V1.01の修正

- **US-322/US-366**の《**MIXER**》タブ画面において、入力チャンネルのセンドポイント（エフェクトセンドバスに送る信号の場所の設定）が《**PRE**》で、且つ《**MUTE**》がオンの場合、そのチャンネルのセンドレベルボリュームを操作すると、センドバスへ送る信号がミュートされましたが、ミュートされないように変更しました。
- **US-322/US-366**において、Computer1-6にレベルの変化が激しい音が入力されている場合、メーターの表示レベルが実際より小さく表示されましたが、実際のレベルとなるように変更しました。
- **US-322/US-366**において、サンプルレートが88.2kHzまたは96kHzの場合、《**EFFECT**》タブ画面上でダイナミクスエフェクトパラメーターを変更していると、その操作中にオーディオにノイズが混入されていましたが、これをノイズが発生しないように変更しました。
- **US-322/US-366**において、ステレオリンクがオンの状態（ステレオリンクボタンが黄色の状態）で本機を起動させると、ステレオリンクボタンの色がグレーとなっていたが、黄色となるように変更しました。
- **US-366**において、Digital1/2に音が入力されていて、且つ**Digital1/2**の**MUTE**がオンの場合、ミキサーパネル閉じている状態から開く操作を行うと、音によってはデジタル入力音に小さな異音が入る事がありましたが、これを異音が入らないように変更しました。

Windows ドライバー

V1.02の修正

- US-322/US-366において、ダイナミクスエフェクトのアサインが、奇数チャンネル（Digital 1、Analog 1等）でオフ、偶数チャンネル（Digital 2、Analog 2等）でオンの状態でステレオリンクをオンにすると、表示は偶数・奇数チャンネルともにアサインはオフになりますが、ダイナミクスエフェクトが偶数チャンネルで有効になっていましたが、どちらも無効になるように修正しました。
- 本機を接続した状態でパソコンを終了（再起動）した場合にフェーダー設定等が保存されない不具合を修正しました（**SOLO**および**MUTE**など一部の状態は保存されません）。

V1.01の修正

- **US-322/366**を起動後、本体の**MIXER PANEL**ボタンを押して一度ミキサーパネルを開くまでは、Windowsのスタートメニューからパネルを開くことができませんでしたが、**MIXER PANEL**ボタン押す前でもスタートメニューから開く事ができるように変更しました。
- **US-366**において、《**INTERFACE**》タブ画面の《**Sample Clock Source**》項目を《**Automatic**》に設定した状態で一度外部のデジタル機器を接続すると、その後《**Sample Clock Source**》項目を《**Internal**》へ変更してもDAWからサンプルレートを切り換える事ができませんでした。これを、《**Internal**》へ変更した場合にDAWでサンプルレートを変更できるように変更しました。

既知の項目

Windows ドライバー

V1.01の項目

- ダイナミクスエフェクトのアサインが、奇数チャンネル（Digital 1、Analog 1等）でオフ、偶数チャンネル（Digital 2、Analog 2等）でオンの状態でステレオリンクをオンにすると、表示は偶数・奇数チャンネルともにアサインはオフになりますが、ダイナミクスエフェクトが偶数チャンネルで有効になります。
ステレオリンク後、ダイナミクスエフェクトのアサインを一度オンにし、その後オフにする事で正常な状態となります。
- **US-366**では、「**MULTITRACK**」モード／「**STEREO MIX**」モードの設定や、**LINE I/O 3 / 4**端子の**LINE I/O**スイッチの設定によって、パソコンとのオーディオ入出力チャンネル数が変化しますが、DAWからは常に6入力および6出力のポートが見えます。設定により使用できないポートはDAW上で設定しないでご使用ください。設定した場合、オーディオ信号が無い為、無音となります。
下記に、各設定毎に未使用ポートをグレーで示した表を掲載します。

Mixer mode	LINE I/O switch	Input (US-366→computer)			Output (computer→US-366)		
		ch 1/2 (Analog 1/2)	ch 3/4 (Digital 1/2)	ch 5/6 (Analog 3/4)	ch 1/2 (Computer 1/2)	ch 3/4 (Computer 3/4)	ch 5/6 (Computer 5/6)
MULTITRACK	INPUT						
	OUTPUT						
STEREO MIX	INPUT						
	OUTPUT						

- **US-366**において、モードが「**STEREO MIX**」のときに外部から176.4/192kHzのデジタル信号が入力されている状態でパソコンを起動したり、USBケーブルを接続した場合に**computer 1/2**の信号が出力されないことがあります。
《**INTERFACE**》タブ画面の《**Sample Clock Source**》項目を《**automatic**》から《**internal**》に一度変更した後、再度《**automatic**》にすることで正常な状態となります。

Mac OS X ドライバー

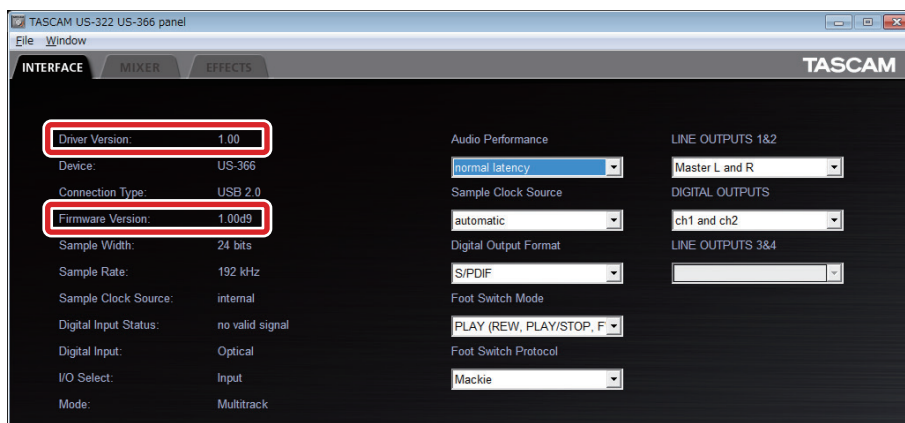
V1.00の項目

- **US-322/US-366**の起動後、ミキサーパネルを開くまでは、**MON MIX**つまみの状態に関わらず本機の外部入力音は本機の端子から出力されず、パソコンからの出力音のみが出力されます。ミキサーパネルを閉じた状態で外部入力音を聴く、あるいはパソコンからの出力音を本機から出力させたくない場合は、起動後に一度ミキサーパネルを開いてください。一度開くと、その後はミキサーパネルを閉じて問題ありません。
- ダイナミクスエフェクトのアサインが、奇数チャンネル（Digital 1、Analog 1等）でオフ、偶数チャンネル（**Digital 2, Analog 2**等）でオンの状態でステレオリンクをオンにすると、表示は偶数・奇数チャンネルともにアサインはオフになりますが、ダイナミクスエフェクトが偶数チャンネルで有効になります。
ステレオリンク後、ダイナミクスアサインを一度オンにし、その後オフにする事で正常な状態となります。
- 「**STEREO MIX**」モードで動作している場合、ダイナミクスエフェクトがどのチャンネルにもアサインされておらず、且つダイナミクスエフェクトがオンになっている状態で本機を起動させると、ダイナミクスエフェクトが**Computer 1**に対して有効となります。
起動後、Computer 1のダイナミクスアサインを一度オンにし、その後オフにする事で正常な状態となります。
- **US-366**において、デジタル入力信号のビット長が16ビットの場合、ミキサー画面のメーターのオーバーロードインジケータは最大レベルで点灯しません。
- **US-366**において、モードが「**STEREO MIX**」のときに外部から176.4/192kHzのデジタル信号が入力されている状態でパソコンを起動したり、USBケーブルを接続した場合に**computer 1/2**の信号が出力されないことがあります。
《**INTERFACE**》タブ画面の《**Sample Clock Source**》項目を《**Automatic**》から《**Internal**》に一度変更した後、再度《**Automatic**》にすることで正常な状態となります。

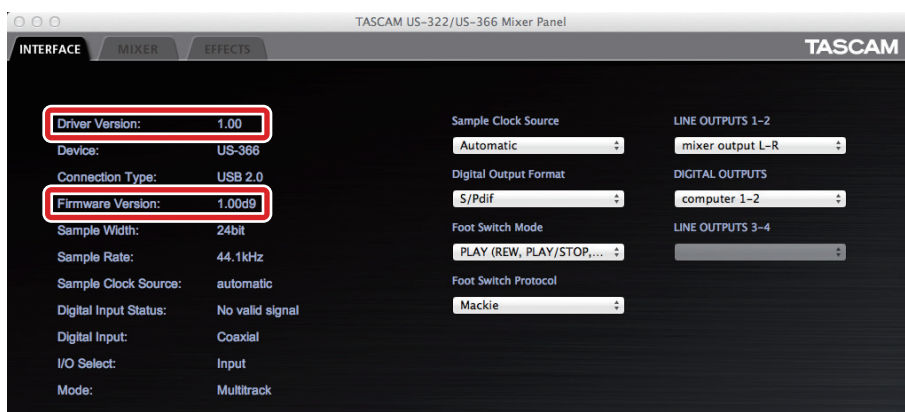
ドライバーバージョンおよびファームウェアバージョンの確認

ドライバーまたはファームウェアのアップデート作業前に、現在お使いのUS-322またはUS-366のドライバーおよびファームウェアのバージョンを確認します。

1. 本体のMIXER PANELボタンを押してミキサーパネルを起動します。
2. 《INTERFACE》タブをクリックして《INTERFACE》タブ画面を表示します。
3. 《INTERFACE》タブ画面の《Driver Version》項目でドライバーのバージョンを、《Firmware Version》項目でファームウェアのバージョンを確認します。



[Windows用 US-366ミキサーパネル]



[Mac OS X用 US-366ミキサーパネル]

ドライバーアップデート手順

下記の記載順の通り、最新のドライバーをインストールし、それからファームウェアをアップデートしてください。

Windows

ドライバーのアップデート手順

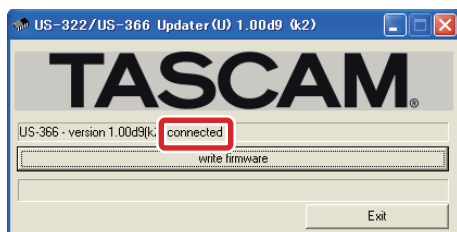
インストールを開始する前に、**US-322**または**US-366**からUSBケーブルを抜いてください。また、ドライバーがインストールされている場合には、ドライバーをアンインストールしてください。アンインストールの方法は、取扱説明書の「ドライバーのアンインストール」を参照してください。

1. TASCAMのウェブサイト (<http://tascam.jp/>) から、ご使用のOSに適した最新のドライバーをダウンロードし、ご使用のパソコンのハードディスクへ保存してください。
2. 保存したドライバーのzipファイルをハードディスク上へ解凍してください。
3. 《**setup.cmd**》をダブルクリックして、インストールを開始します。
その後は取扱説明書に記載されているインストール手順と同じとなります。

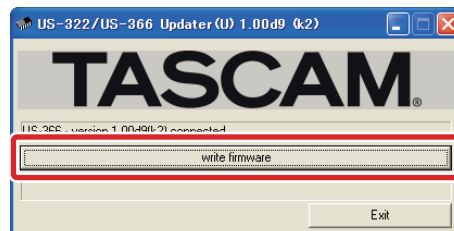
ファームウェアのアップデート手順

ドライバーのインストールが完了し、パソコンの再起動が完了したら、次にファームウェアのアップデートを行います。

1. TASCAMのウェブサイト (<http://tascam.jp/>) から、“**Ver. x.xxファームウェアアップデーター (Windows用)**” をダウンロードし、ハードディスク上へ保存してください。
2. 保存したzipファイルを解凍するとexeファイルが作成されますので、exeファイルをダブルクリックし、ファームウェアアップデーターを起動します。
3. 本機とパソコンをUSB接続し、アップデーターの画面表示が《**connected**》になっていることを確認します。



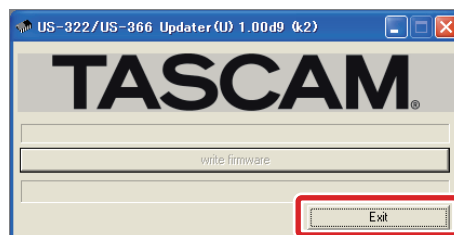
4. 《**write firmware**》ボタンをクリックすると、アップデートが始まります。



注意

アップデート中はUSBケーブルを抜いたり、パソコンの電源を切らないでください。ファームウェアが壊れて、アップデートも通常の動作もできなくなります。

5. アップデートプロセスが終了すると、下記の画面が表示されます。



6. 《**Exit**》ボタンをクリックすると、アップデートが完了します。

TASCAM

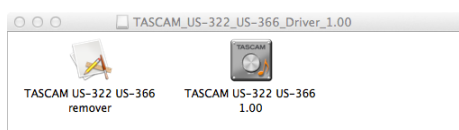
US-322/US-366

TASCAM US-322/US-366 Release Notes

ドライバーのアップデート手順

インストールを開始する前に、**US-322**または**US-366**からUSBケーブルを抜いてください。また、ドライバーがインストールされている場合には、ドライバーをアンインストールしてください。アンインストールの方法は、取扱説明書の「ドライバーのアンインストール」を参照してください。

1. TASCAMのウェブサイト (<http://tascam.jp/>) から、ご使用のOSに適した最新のドライバーをダウンロードしてください。
2. ダウンロードしたドライバーのディスクイメージファイル (《dmg》ファイル) をダブルクリックし、開いたフォルダ内の《TASCAM_US-322_US-366_x.xx》ファイルをダブルクリックします。



注意

ご使用の環境により、ダウンロードしたzipファイルが解凍されていない場合があります。その場合は、zipファイルを解凍してからアップデーターをダブルクリックしてください。

3. その後は、画面の指示に従ってインストールを進めます。



パソコンを再起動すると、ドライバーのインストールは完了です。

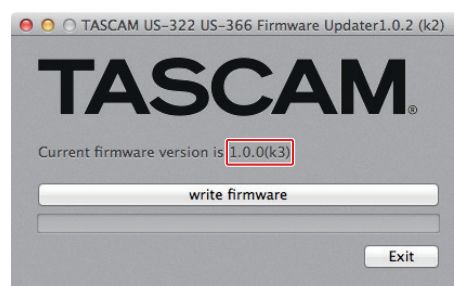
ファームウェアのアップデート手順

ドライバーのインストールが完了し、パソコンの再起動が完了したら、次にファームウェアのアップデートを行います。

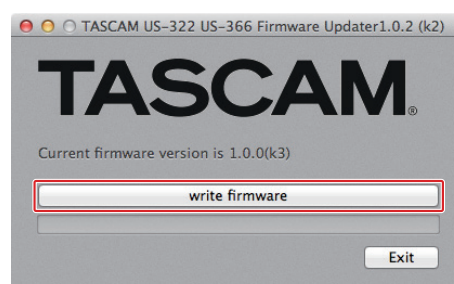
1. TASCAMのウェブサイト (<http://tascam.jp/>) から、《Ver. x.xxファームウェアアップデーター (Mac OS X用)》をダウンロードしてください。
2. ダウンロード・ウィンドウなどで、ダウンロードしたアップデーターをダブルクリックし、ファームウェアアップデーターを起動します。

注意

- このとき、《“FWUpdater...” は、アプリケーションで、インターネットからダウンロードされました。開いてもよろしいですか》というセキュリティの警告が出ることがありますが、その場合には《開く》ボタンをクリックしてください。また、この警告が表示されて、アップデーターがデスクトップから見えなくなった場合には、ドックにあるアップデーターのアイコンをクリックしてください。
- ご使用の環境により、ダウンロードしたzipファイルが解凍されていない場合があります。その場合はzipファイルを解凍してからアップデーターをダブルクリックしてください。
- 3. 本機とパソコンをUSB接続し、現在のファームウェアバージョンが表示されている事を確認します。



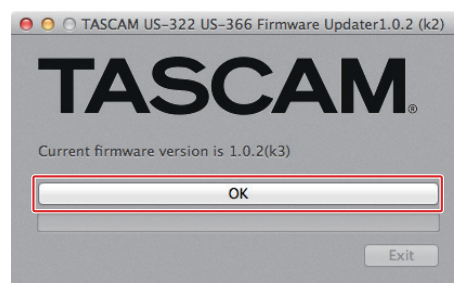
4. 《write firmware》ボタンをクリックすると、アップデートが始まります。



注意

アップデート中は、USBケーブルを抜かないでください。

5. アップデートプロセスが終了すると、下記の画面が表示されますので、《OK》ボタンをクリックしてください。



注意

《OK》と表示されない場合はアップデートが正常に行なわれていません。《write firmware》ボタンをクリックして再度アップデートを実行してください。

6. 《Exit》 ボタンをクリックするとアップデートが完了します。

